

10年後の自分って？（学校運営協議会「児童との懇談」・桃四小）

桃井第四小学校で行われた拡大版CS会議に参加してきました。6年生の児童と桃四小学校運営協議会に加え、桃四小PTAの皆さん、近隣小学校校長や他校の学校運営協議会、学校支援本部、コーディネーター、自治会、NPO法人、卒業生、学生ボランティアと多様な大人がグループディスカッションに参加しました。

今年度、創立90周年を迎えた桃四小は、来る100周年、10年後の桃四小にどのようなバトンを渡し、どう迎えるかを、最高学年の6年生と地域や地域を超えた大人が一緒になって、「これまで」と「これから」について語り合いました。

「10年後も今のままの桃四小であってほしい。」という意見があり、学校生活に満足している様子が伝わってきた。



子どもは話を聞いてほしがっていると感じた。自分の考えを伝えられてうれしいと言っているのを聞いて、自分の子育てにも生かせると思った。



卒業生ボランティアを担当しているが、「ボランティアとして桃四小に戻ってきたい。」という子がいて嬉しかった。

意見を言える場があることが大切だと思った。「話ができて嬉しかった。」という児童が結構多くてびっくりした。

組織として、学校をよりよくするために、常に新しいものを求めていく姿勢を大切にしたいと思った。

同じ学校運営協議会委員としてとても勉強になった。子どもたちは、一人ひとりが自分なりの考えをしっかりと持っているということが分かった。

将来の話をする中で、「違う道でも一緒にできることがあるね。」と話が盛り上がっていたのが印象的だった。

児童の中に地域行事が定着していることが分かった。地域への感謝の気持ちを残したいという声を聞き、嬉しかった。

【児童の感想】
○様々な立場の大人と話すことで、いろいろな考え方があることが分かった。
○丁寧に話を聞いてくれたので、10年後が少しイメージできた。これからもっと桃四を大切にしたい。
○こんなに自分のことをじっくり話すことがなかったので楽しかった。
○10年度の話をする中で、子どもと大人の考えることの共通点が見付けられた。

100周年のときに、自分たちが桃四小に戻ってこれる行事があるとうれしいと言っていた。もしサーモン計画が根付いていると感じた。

進行を務めたのは桃四小卒のサーモンCS委員。10年前の6年生です。今の6年生は八木委員の姿に10年後の自分を重ねてみたのでは？

